

大空と海を感じる波型ルーフ

雄大な海と山に囲まれた本部港に、周辺のランドスケープや既存施設に溶け込む波型の屋根を持つ荷捌き場と待合い場を持つ便利施設



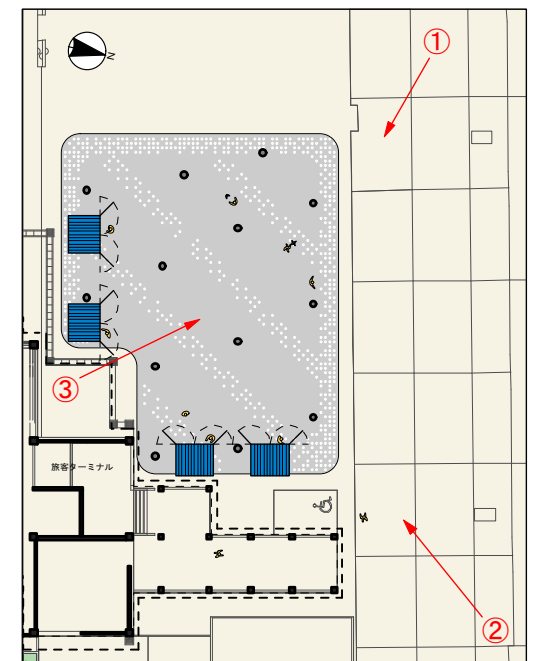
① 施設全景 荷捌きスペースと待機スペースを動きのある波型の屋根で覆います。周辺の景色を感じながら見上げると、表情ある天井が広がります。



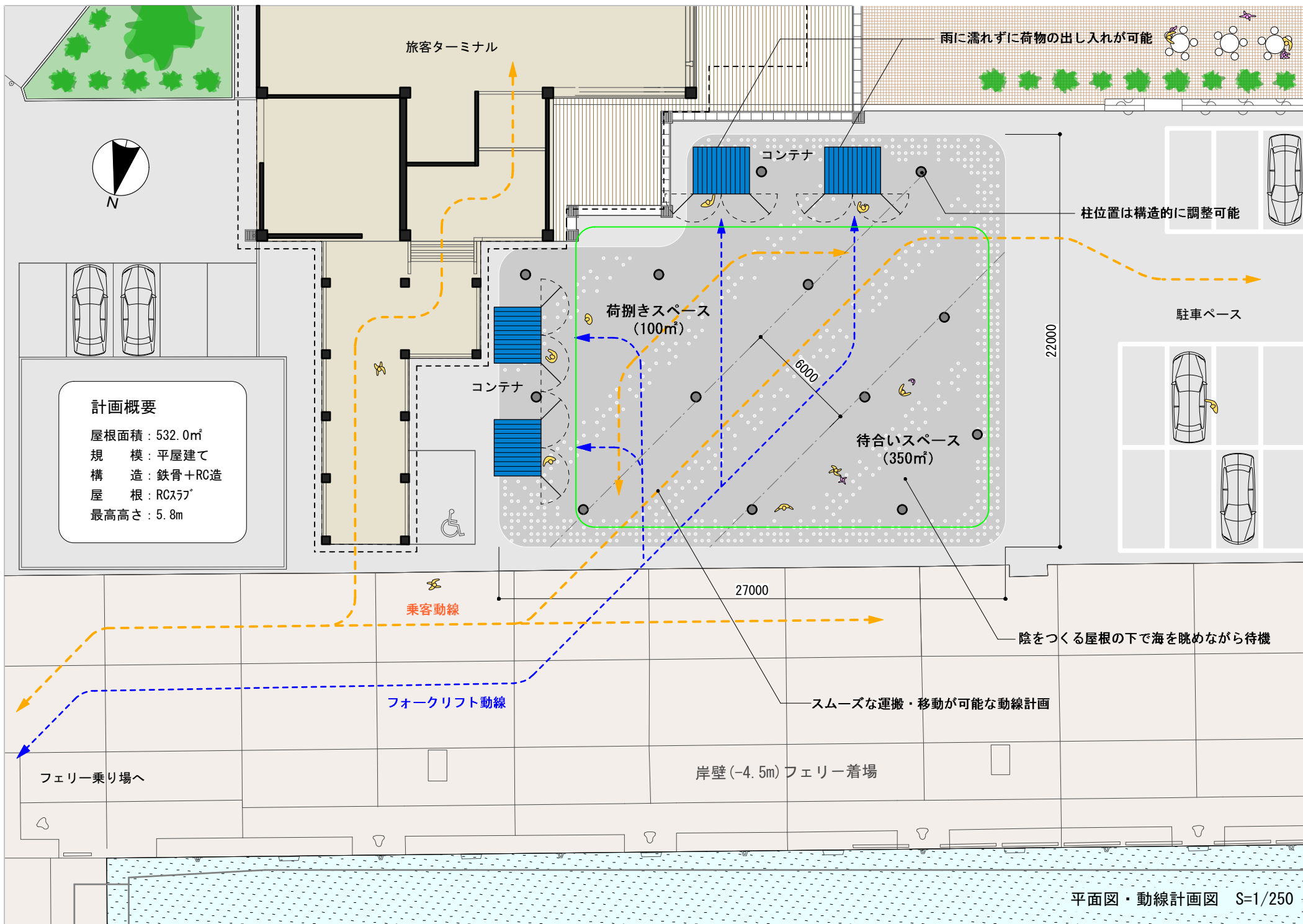
② フェリー乗り降り場側から見える波型ルーフ。連続する柱とアーチ状の抜けがスムーズな移動・運搬を可能にします。



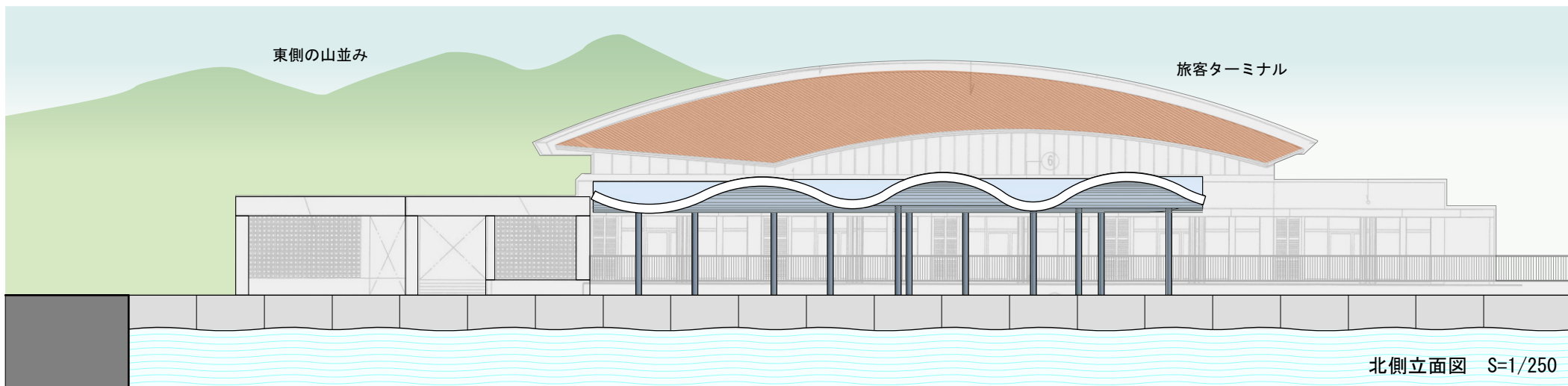
③ 瀬底島や船の往来が眺められ、港湾利用者の休憩やイベント等の多目的利用が可能なオープンスペースになります。



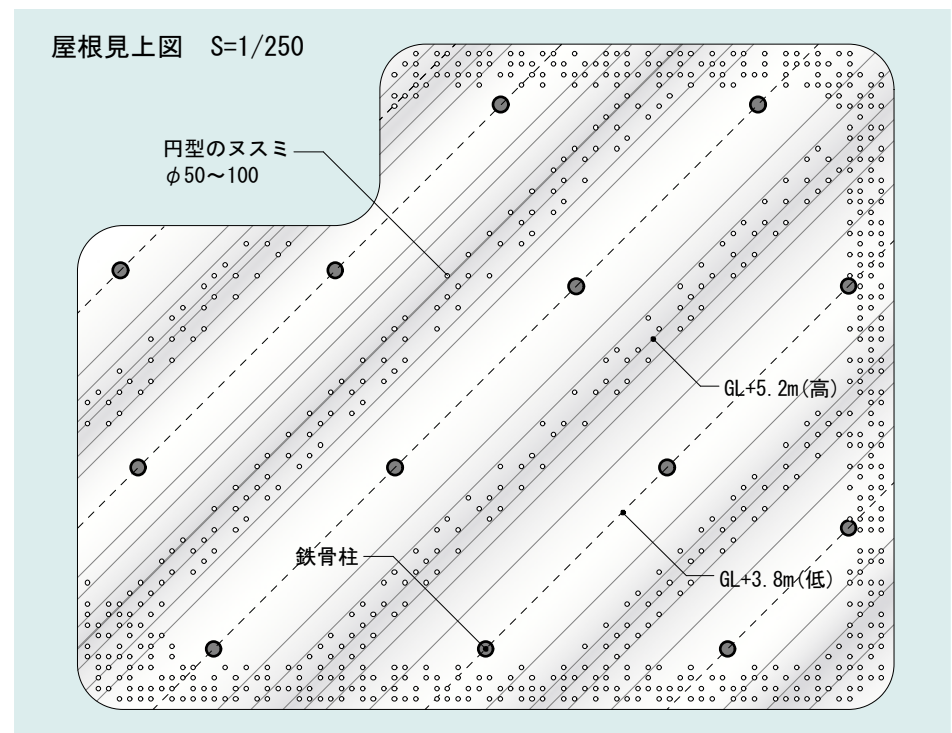
キープラン



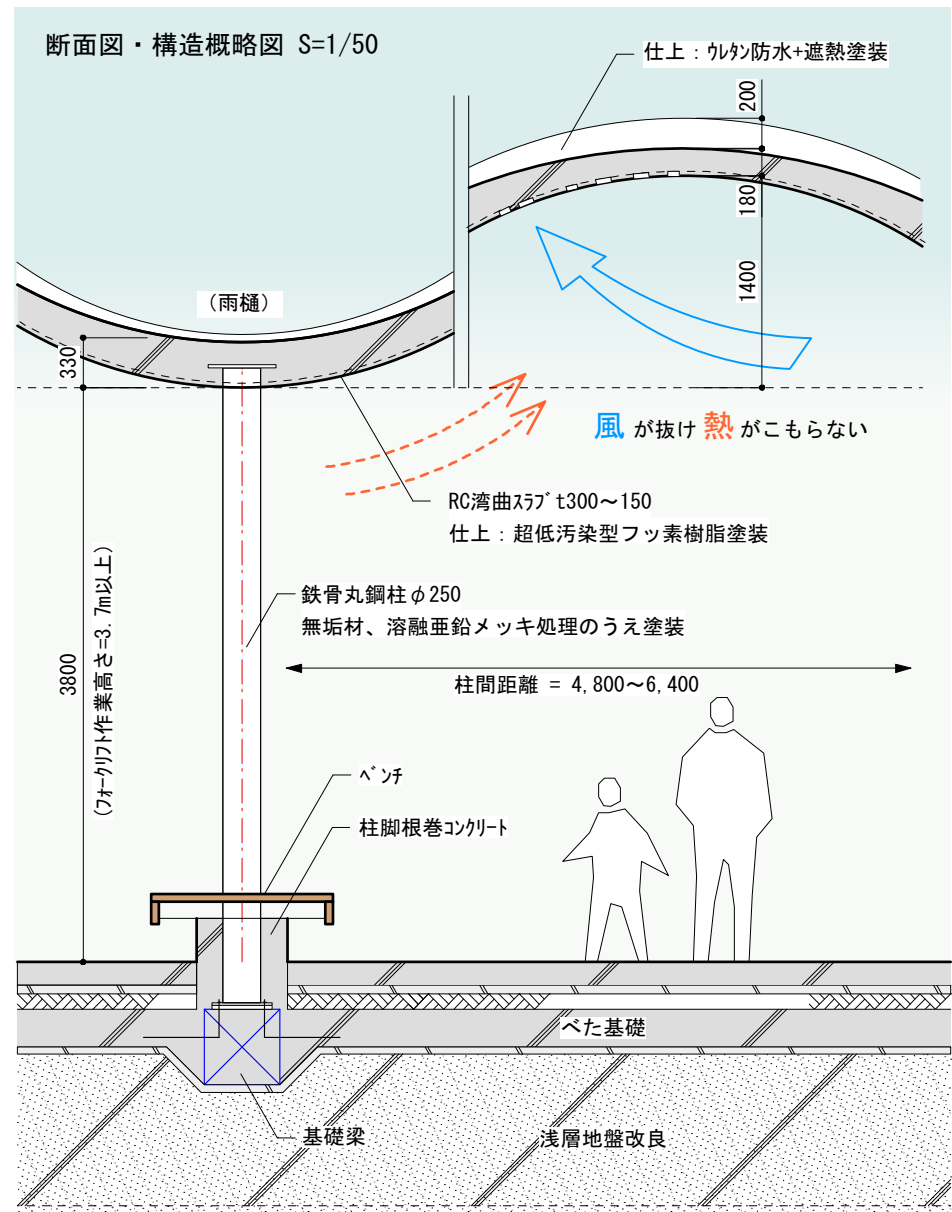
配置計画・動線計画 フェリー着場に対し、柱と波型ルーフを45度角で配置し、フェリー乗り場からの視線や風の抜け、移動・運搬作業のしやすさを考慮した配置・動線計画を行います。



波型の屋根 周囲のランドスケープに馴染む波型の屋根。スラブ先端は全周にわたり波型を形成。細い鉄骨柱によってスラブがより強調され、旅客ターミナルの屋根とともに本部港のランドマークとなります。



表情ある柔らかな天井 連続する波形状のスラブをかけます。天井面には円型のヌスミを入れ、平面的・立体的にも表情のある屋根を形成します。



構造計画 構造体は鉄骨柱とRCスラブで構成。基礎は浅層地盤改良とべた基礎を採用し、地盤沈下を防止。波形状に合理的なスラブ厚を設定。柱は鉄骨をコンクリートで根巻きし剛性を高めます。